

ココからはじまる、
新しい未来。



2023

岐阜県職員採用案内

清流の国ぎふ憲章

— 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 —

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知

清流がもたらした
自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、
新たな創造と発信に努めます

伝

清流の恵みを新たな世代へと
守り伝えます

平成26年1月31日策定

ココからはじまる新しい未来を、

私たちと一緒に創りましょう！





岐阜県は
チャレンジ精神に富み、
強い精神力を具え、
かつ柔軟な発想力を持った人材を
求めています。

岐阜県職員が目指す職員像

- ・ 高い使命感と倫理観・遵法精神を具えた職員
- ・ 県民目線・現場主義で政策の立案・実行をする職員
- ・ 最小の費用で最大の効果を上げる経営感覚を持った職員



PR動画はコチラ↑



4人の先輩たちに、
岐阜県庁で働く魅力について聞きました。

自分がワクワクできる場所。それが岐阜県でした。

◆岐阜県庁を選んだ理由は？

宇野 岐阜県は広いですよ。ひとつの県の中でも圏域によって環境が大きく違うんです。それぞれの地域にあった様々な農業振興に携わることできたら楽しいだろうなと思って。それから、私は、いろいろなことに興味があって、民間企業の研究職や教員も就職先として検討していたんですが、ある時、県のホームページをみて、岐阜県の農学職は農業技術の普及指導や研究もできるし、農業大学校にも配属があることを知って「あ！ココ、私のやりたいこと全部できるんだ！」と思い受験しました。

蛭田 僕は、民間を受けようとは全く思っていなくて。公務員のなかでも県職員を選んだのは、地元に着く安心感が一番大きかったです。少しでも安心できる要素の多い就職先と考えて岐阜県を選びました。

天野 僕は、小さい頃からモノづくりに興味があったので、普段、自分たちが使う道路や洪水の時に守ってくれる堤防などの社会基盤整備に携わっていきたくて入庁を決めました。

竹中 私は、大学で幼児教育を専攻していて、大学の講義や実習を経験するなかで、子育て施策に関わりたくないという気持ち

が出てきて。それなら、県内全域の子育て施策に貢献しようと思志望しました。

◆岐阜県庁の魅力は？

天野 県内の大規模整備事業に携わって地元貢献ができることです。

竹中 住民と関わる仕事から、社会政策に関わる仕事もできずし、いろんなことを経験して、自分の得意な分野を見つけられるのも県職員の魅力だと思います。

蛭田 県内のいろいろな地域で仕事ができることも県職員の魅力ですね。

宇野 私は入庁2年目で大きな仕事を任せてもらえたうれしさがあります。岐阜県には、年齢に関係なく活躍できる良さがあります。



技術職(土木)

河川課

天野 裕行

異動歴

H30年 可茂土木事務所
R3年 現所属

行政職(行政Ⅱ)

農村振興課

竹中 菜々

異動歴

H30年 女性の活躍推進課
R2年 西濃県事務所
R4年 現所属

◆やりがいを感じるのはどんなとき？

蛭田 2～3年で異動があって毎回新しい業務を経験するので勉強の日々で大変ですが、その分、いろんな知識が身につくことで、仕事をしながら自分の成長を実感できるところがやりがいにつながっていると思います。

天野 土木事務所では、設計・工事発注・現場監督・完了検査という一連の業務を任せてもらっていたのですが、現場に合う施工を考えるために何度も現地に行きました。その中で、満足するモノが出来上がっていくところが目に見えるため、やりがいを感じる仕事でした。

竹中 生活保護のケースワーカーをしていたときは、受給者の方と一緒にいろいろな職場に足を運んで仕事探しのお手伝いをすることもありました。仕事を見つけて、生活を立て直された方に会えたときは、とてもうれしかったです。

宇野 私は、花に関するイベントの企画運営をしていますがお花って、人に見てもらえて「いいな。」って思ってもらうことが大切なので、お客さんがたくさん集まって楽しんでくださったときに少しでもお役に立てたのかなとうれしい気持ちになります。イベントは、体験、展示、販売などを組み合わせて行うのですが、自分が考えた企画が実現すると「私がやったんだ！」という達成感があります。

◆入庁して知った意外なことは？

蛭田 市町村課では、僕が在籍したこの2年間で、育休を取得



したり、これから取得予定だったりする男性職員が3人います。育児支援制度が充実していて、女性だけでなく男性も育休取得が当たり前になっていることは、入庁するまで知りませんでした。

竹中 若い職員や女性職員が働きやすい職場ですよ。若い職員、女性職員の割合が想像していたより多くて、和気あいあいとしています。プライベートの話もできて雰囲気がこんなにいいとは思ってなかったです。

天野 アットホームな雰囲気がありますね。入庁前はお堅いイメージがありましたが、実際はみんな優しく、しっかりしているけど、ラフな感じもあり、仕事しやすい。入庁前はどんな仕事をするか全くわからなくて不安でしたが、入庁したばかりでも、最初から専門的な仕事を一人で担当するわけではなかったため、そこもイメージと違いました。

宇野 県職員は、デスクワークばかりだと思っていましたが、意外に外に出る仕事が多くて。土日祝日、どこかの部署で必ずミナモの着ぐるみを使っているの、街でミナモが歩いている



行政職(行政I) 市町村課	
蛭田 哲也	
異動歴	
H31年	恵那土木事務所
R3年	現所属

技術職(農学) 農産園芸課	
宇野 風音	
異動歴	
R3年	農産園芸課
R4年	現所属 (清流の国さふ 花と緑の振興センター)

【県庁舎20階清流ロビーにて】

と「県がイベントやってるんだ！」と思うようになりました。県職員って、身近なところで活躍してるんだというのは新たな発見でした。

いつも誰かが見守ってくれている、そんな安心感があります。

◆職場のサポートは？

竹中 入庁したばかりの頃は、先輩トレーナーをはじめ、係長、係員の皆さん全員で教えてくださいました。係のチームワークがとてもよかったです。多少失敗しても「大丈夫、大丈夫。」と手厚いサポートがあって。OJTは十分すぎるくらいでした。

蛭田 僕も1年目のときは、歳の近い先輩から「困っていることない？」と毎日声をかけてもらっていました。仕事で悩むことがあっても、いつも先輩方が助けてくれたので安心して仕事ができる環境でした。

宇野 私の先輩トレーナーも、こちらから聞くよりも先に声をかけてくださる方でした。

天野 土木職は、長年皆さん一緒に仕事をされているので連帯感があり、知識が豊富な方が多く、忙しい中でも、いろいろ教えてもらっています。先輩職員と現場に行くと、施工方法等について教えてくれたり、僕の考えに対して、さらに改善できるアドバイスをくれたり。質問すると、忙しい時でも時間を作ってしっかり聞いてくださって。先輩方は頼もしいなと感じていました。

◆上司はどんな人？

蛭田 上司には「思うように思い切ってやってみればいいよ。フォローするから。」といつも背中を押してもらっています。

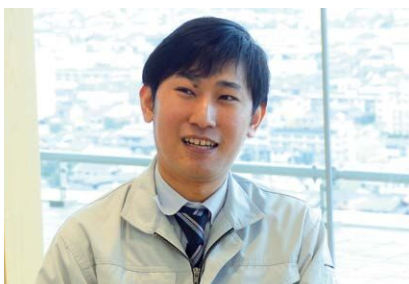
天野 上司は、よく人をみていて、声掛けをしてくださり、仕事がやりやすいように配慮してくれるので、職場の雰囲気すごくいいです。

宇野 私も、今の所属が今年新設されたばかりで忙しいのですが、「大丈夫？」と声をかけてもらえます。自分のことをみてもらえるんだなという安心感があります。

竹中 しんどい仕事をしているときこそ、よくみてくださっていますよね。がんばろうと思える。

◆同僚とのつながりは？

竹中 新規採用で県庁に配属された同期みんな仲良くしていて、出産した同期の赤ちゃんを見に行ったり、ランチに外出し



て気分転換したりしています。

宇野 農学職の先輩が他の課から話しかけに来てくれました。先輩だけど仲がいい。人数が少ない技術

職だからこそその結束感があります。

天野 技術職だと、年齢が近い先輩は特に気さくに接してくれます。先輩方は後輩の面倒見がとてもいいです。

ワークライフバランスも大切に。

◆仕事とプライベートの切り替えは？

宇野 休日は、仕事のことは考えないで、自分のやりたいことをやりきるようにしています。お金も使うので、そのためにも仕事がんばらないと、と自然にメリハリがつきます。

天野 僕も休日は、仕事のことはいい意味で忘れています。気持ちを切り替えるというか。

蛭田 僕は、逆に家とかカフェで仕事に関する勉強をしています。穏やかな環境で取り組んだ方が頭に入るかなと。あとは、仕事が落ち着いている日は定時で帰るし、仕事にキリがついた時には時間休を申請して、午後から休みを取ったりしています。先輩もそんな感じでやっていて、柔軟な休み方ができるので、一日のなかでもオンオフを切り替えてリフレッシュしています。

天野 仕事のスケジュール調整ができれば好きなときに休めますよね。

これまでの経験が今の自分に繋がっています。

◆学生時代の経験で役立っていることは？

天野 接客業のアルバイトをしていましたが、様々な人への接し方を学んだことは仕事に役立っていると思います。

竹中 私も接客業のアルバイトをしていて電話の受け方やお客様対応、基本的な挨拶の仕方などの指導を受けました。入庁したばかりの頃は、こうしたアルバイトの経験が自分の自信につながり役に立ったと思います。

宇野 私は、大学の卒業研究にとても時間がかかったので、そのときに、先を予想して、どういう結果を得られるか考えながらやる習慣ができました。この習慣のおかげで、今の業務でも効率化や失敗を未然に防ぐためにどうしたらいいか考えることができています。

蛭田 僕は、学生時代に身につけた読書の習慣が、今の仕事に役立っています。県職員は異動が多く、また、どんどん制度も変わっていくので、常に勉強しなければならない。その点、長い文章に対する耐性があるだけでもよかったなど。いろんなジャンルの本を読むと、語彙力や慣用表現、文章の構成が自然と身につくので、庁内の決裁文書の作成や県民への説明などに活かしているなど感じています。

試験対策は人それぞれ、自分に合ったやり方で。

◆採用試験合格の秘訣は？

竹中 私は、がんばらないと4月からの自分が何もないと、不安で仕方なかったです。皆さんは何をモチベーションにして受験対策をされましたか？

天野 僕は1月から本格的に勉強をはじめました。モチベーションを常に保つのは難しい。あまり早く始めすぎても途中で疲れてしまう。終着点が試験なので、あまり長くやるより余裕を持つ方がいいかなと思います。

宇野 私は5月くらいに試験勉強を始めて。追い込みタイプでした。

蛭田 僕は、大学から年末年始に岐阜に帰省したとき、県庁の建物を見て、「4月からここで働くんだ!」とモチベーションを高めました。

◆面接、集団討論対策は？

宇野 私は一次試験に受かると思ってなかったのですが(笑)合格したときは、慌てて教授に面接練習に行っていたので電話しました。二次試験対策はほとんどできないまま当日を迎えて。皆さんはどのように面接や集団討論の対策をされましたか。



竹中 行政Ⅱを受験しましたが、プレゼンテーションと集団討論が必要な試験なので、大学に協力してもらって部屋を借りて集団討論や面接の練習を毎日やりました。やって、やって自分に安心感を与えるようなやり方でしたが、友だちの面接練習を見て、目をみて話すとか、好印象というのはどんなものか分かりました。そのおかげで、一緒に練習した友だちも公務員志望でしたが、全員合格しました!大学の就職課は、なんでも知っているの活用のつもりです。

蛭田 僕も大学内で面接練習のサポートはあったんですけど、利用しませんでした。僕は自分の思ったことしか話せなくて、誰か別の人の言葉だと、相手に気持ちが伝わらないかなと思って。結果として、当日は自然な感じで話しました。自分の素直

な思いを話して、それでだめだったら自分のやりたいことが受け入れられなかったのかなとあきらめようと思っていました。

天野 僕も集団討論の練習は一度もしなかったです。ぶっつけ本番で。面接も教授と一度しただけ。ありのままの自分を出せばいいかなと思っていました。

新たな可能性を広げてくれる新しい試験!

◆新試験SPI方式についてどう思いますか？

竹中 令和5年度から始まるSPIを導入した新試験は、「早い、易い」がキャッチフレーズと聞きました。合格発表時期が6月初旬と早く、全国で受験ができて受け易い。

蛭田 就活の選択肢が増えますね。教養試験に勉強時間を割かなくていいところも魅力だけど、早く合格発表がもらえるところは、すごく魅力だと思います。

天野 公務員、民間どっちにしようかと悩む方は多いかなと思います。公務員試験には対策期間が必要なので早く決めて勉強をはじめないといけない。SPIなら公務員試験のような対策が不要なので悩める期間が長くなっていいですね。

宇野 私は民間企業と教員も併願で、公務員試験対策もギリギリになってはじめていたので、合格する自信はありませんでしたが、結果として、受験しなければ今の仕事に出会えていなかったのが選択肢はたくさんあったほうがいいと思います。岐阜県庁を受験しようか迷っている方には、ぜひ受験することをお勧めしたいです!



MESSAGE

受験者へのメッセージ

自分を信じ、全力で悔いなく頑張ってください。
皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



日本を凝縮したような変化に富んだ環境がある岐阜県で、一緒に農業を盛り上げていきましょう。



幅広い分野の中から、「これだ!」と思える仕事にきっと出会えます。



僕たちと一緒に岐阜県の未来を創りましょう!

行政 I



県産品流通支援課
森田 千陽

異動歴
H31年 採用 飛騨県税事務所
R3年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

県産品の商品開発や販路開拓の支援に取り組んでいます。私は海外展開係として、海外 EC サイトでの県産品販売や、海外デザイナーとの連携による新商品開発などの事業を通して、県産品の海外展開を目指す企業の支援を行っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

学生時代、就職先を考えるために企業の情報収集をした際、岐阜県には魅力ある企業がたくさんあることを知りました。こうした魅力ある県内企業を、行政として様々な観点から支援し、岐阜県の経済発展につながる仕事がしたいと考え、岐阜県職員を志望しました。

Q3 岐阜県職員として働く魅力を教えてください。

行政職は様々な所属への異動があり、幅広い分野の業務に携わるため、多くの経験や知識を得ることができ、人脈も広がります。また、県民と接したり、県内各地へ出張に行ったりする中で、岐阜県の新たな魅力を発見する

ある日のスケジュール

8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	17:15
登庁 メール、新聞記事確認	県産品に関する 情報収集	海外ECサイト事業に 関する打合せ	昼休み	新規事業の 仕様書作成	海外バイヤー招請の 日程調整	退庁

ことも多く、生まれ育った岐阜県がさらに好きになりました。

Q4 一番印象に残っている仕事を教えてください。

現所属で海外出張に行ったことです。バイヤーに紹介した県産品の数々が、現地ショップにおいて実際に展示販売されているのを見て、大変感動したと同時に、県産品の魅力をさらに海外に伝えていきたいと感じました。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

職場全体が、組織で対応するという意識をもっているため、わからないことや判断に迷うことがあったときは、上司や同僚に気軽に相談でき、安心して仕事を進めることができる環境だと感じています。また、休みを取得しやすい職場なので、プライベートも充実させることができます。

行政 II



競技スポーツ課
奥村 亮太

異動歴
R2年 採用 リニア推進事務所
R4年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

岐阜県出身や岐阜県内で活躍しているオリンピック選手、パラリンピック選手そして将来の活躍が期待される選手の活動をサポートしています。その一つとして、選手とコミュニケーションをとり、課題や困っていることなどを聞き、選手がよりスキルアップしやすい環境づくりをしています。また、競技パラスポーツ係では選手や指導者、関係者向けの研修等もを行っています。

Q2 入庁前と入庁後のギャップはありましたか。

行政職は様々な所属に配属されることが一番驚きました。様々な所属へ配属されることで、新しく学ぶことや今まで知ることなかった分野に触れることができます。一緒に働く人も同じようでは違う仕事をしているため、若手のうちから自分の仕事は自分が一番先頭に立つて考えることができ、力をつけていくことができます。

Q3 前職での経験がどのように活かされていますか。

前職はお客様の接客をする営業職でしたので、その経験が活

ある日のスケジュール

8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	17:15
登庁・メール確認	事業進捗状況の 係内共有	関係者との情報共有、 イベントに関する打合せ	昼休み	選手との面談、 練習視察のための出張	選手面談内容の 課内共有資料作成	退庁

かされています。現職も人とのつながりが重要です。そのため、様々な方とコミュニケーションを取る際には、自分の価値観や思い込みで聞くことなく、相手の気持ちに寄り添うことを大切にしています。また、相手に思いを話す際には、ただ伝えるのではなく、伝わる話し方を心がけています。

Q4 岐阜県職員として働く魅力を教えてください。

多くの分野に触れるられるので、様々な人と関わることができます。自分の経験として力をつけることができるだけでなく、多くのことを知るため視野が広がります。もちろんそれが大変だと思うこともありますが、チームで仕事をすることで、一緒に働く職員と協力し、目標に向かって取り組むことは楽しいです。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

福利厚生が整っているのも、通常のお休みだけではなく、育児参加休暇や生活スタイルに合わせて勤務時間を調整することができます。繁忙期は残業をすることもありますが、同僚や上司が声をかけてサポートしてくれるので、大変な業務も一緒に乗り越えることができる環境だと思います。

事務 (社会人枠)



東濃県税事務所
天野 隆昭

異動歴
R2年 採用 企業誘致課
R4年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

個人の方が営む事業に対して課される個人事業税に関する業務を主にしています。県民の皆様は納めていただく県税は、県政を展開していくための貴重な財源であり、正確な業務を心掛けています。

Q2 入庁前と入庁後のギャップはありましたか。

業務の発注や物品の購入はすべて公金の支出ですから、より慎重に行う必要があり、たとえ安価な物品の購入であっても、担当者だけで決定することはありません。前職では、ある程度自分の判断で業務を進めていましたが、県の業務は全て複数の職員の審査を経て、最終的な意思決定を行うことに最初は戸惑いを感じました。

Q3 前職での経験がどのように活かされていますか。

自動車製造工場の設備メンテナンス営業兼工事現場監督、その後は出版社での営業職を経て、岐阜県職員に採用されました。営業職から事務職へ職種転換したこともあり、ノウハウが直接的に活かされることはありませんが、顧

ある日のスケジュール

8:30	9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:15
登庁・メール確認	税務署での 課税調査	昼休み	個人事業税の 課税判定業務	課税者情報の システム入力	狩猟税の 賦課業務	県民税利子割の 賦課業務	退庁

客に喜んでいただき利益を得ることや、様々なトラブル対処の経験は自身の土台となっており、日々の業務で発揮されていると思います。

Q4 岐阜県職員として働く魅力を教えてください。

県職員の業務は多種にわたり、定期的な異動で県民の生活に関わる様々な業務に携わるため、幅広い仕事をする中で知見も増え、自己成長を感じとれます。また、県職員の業務は公共に関わるものとなるため社会貢献につながり、やりがいを感じます。

Q5 困難な事例があったときにどうやって解決されましたか。

ある程度解決への道筋を考えた上で、上司や周りに相談し、情報共有し、解決に向け進めています。同時に相談しやすい環境と、自身のメンタルケアも必要であり、共に大切にしています。

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

子ども相談センター（児童相談所）の家庭支援課で、児童福祉司として相談援助業務に携わっています。子どもに関する相談や通告を受け、調査を行い、解決に向け関係機関と連携して支援を行っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

大学で福祉（児童、高齢者、障害等）を学んでおり、将来は福祉に携わる仕事をしたいと考えていました。福祉について様々な事を学ぶ中で、子どもの福祉について高い関心を持ちました。子どもや保護者と直接関わりを持ちながら相談・援助を行いたいと思い、岐阜県庁の福祉職を志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

県民の方々と直接関わり、寄り添いながら支援させていただけることが一番の魅力だと思います。児童福祉に関わる知識を身につけ、専門性の高い支援を行うことができます。今よりもさらに見識を深め、ケースごとに最適

ある日のスケジュール

8:30	9:30	10:00	12:00	13:00	15:00	16:00	16:30	17:00	17:15
登庁・メール確認	市役所で家庭支援についての打合せ	市役所で保護者、児童と面接	昼休み	対応状況を職場内で共有	所内で保護者、児童と面接	対応状況を職場内で共有	面接記録の作成	メール確認	退庁

な支援ができるように日々努めています。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

県民の方々から多くのご相談が寄せられます。近年、児童虐待に関わる通告も多く対応しています。児童虐待対応では、子どもを虐待から守るために、子ども、保護者と解決すべき課題について話をします。話し合いを重ねたことで、子どもが過ごしやすい環境が整い相談してよかったと思っただけなのがやりがいとなっています。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

現在の業務は子どもに関する様々な法律を理解していないとできない為、業務の中で分からないことや判断に迷うこともあります。しかし、そんな時は上司や周りの先輩が親身になって話を聞いてくれ、丁寧に教えてくださいるので、とても働きやすい環境であると感じています。休暇制度、各種手当、勤務時間の変更等の福利厚生も充実していてとても働きやすい職場です。



中津子ども相談センター
堀井 豊大
異動歴 H31年 採用
中央子ども相談センター
R2年 現所属

福祉

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

子ども相談センター（児童相談所）で、18歳未満の子どもに関する相談に応じ、支援をしています。児童心理司として、心理検査・面接による子どもの見立てやカウンセリング、保護者への心理教育など、心理学的な観点から問題の解決方法を探ります。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

学生時代に子どもの居場所づくり事業に携わったことをきっかけに、困難な状況において生きづらさを抱える子ども、家族をどのように支援したら良いか考えるようになり、児童相談所の業務に興味をもちました。また、岐阜県のインターンシップに参加し、実際に働く姿をイメージできたことも良い経験となりました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

支援の方向性を決定する上で心理学的な観点からの見立てが重視されるため、心理司として意見を発信する機会が多くあり、心理分野の専門知識・技術を最大限に活か

ある日のスケジュール

8:30	9:00	9:30	11:00	12:00	13:00	14:30	16:00	17:15
登庁・メール確認	援助方針について所内協議	心理検査所見の作成	所内で保護者と面接	昼休み	面接記録の作成	学校で情報共有	市役所で児童の心理検査	退庁

すことができます。また、児童福祉に限らず、幅広い対人援助分野において経験を積み重ねることができるのも魅力だと思います。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

子どもや家族から様々な苦悩や葛藤を聴き、解決に向けてどうしたら良いか一緒に考える過程に大きな意義があると感じます。子どもの状態や家族関係が良い方向に変化し、それが子どもや家族の自信につながったときはとても嬉しい気持ちになり、やりがいを感じられます。

Q5 困難な事例があったときにどうやって解決されましたか。

子どもや家族と向き合う中で思い悩むことは多々ありますが、その都度同じ職場の上司や先輩に相談するようにしています。話し合いながら課題を整理したり、自分一人では思いつかなかった助言をもらったりしながら問題解決を図ることができるので、安心して業務に取り組むことができます。



中津子ども相談センター
吉本 祐子
異動歴 H31年 採用
東津子ども相談センター
R3年 現所属

心理

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

イベントの企画運営や、図書館システムの管理をしています。みなさんが考える司書の仕事とは異なるかもしれませんが、「図書館はこんなに便利に使える場所なんだ」と知ってもらえるきっかけをつくる仕事だと思っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

幼い頃から本に関わる仕事がしたいと考えていました。特に司書に興味があり、資格が取れることを条件に大学を決めました。在籍したのは県外の大学でしたが、地元岐阜県が採用を行っていること知り迷わず応募しました。夢だった司書の仕事は想像の何倍も奥深く、毎日が新鮮です。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

司書が勤務する場所は県図書館や学校図書館、大学図書館から議会図書室のような専門図書館まで様々です。異なる館種の図書館で勤務することで幅広い視野や知見を

ある日のスケジュール

9:00	9:30	10:00	12:00	13:00	14:00	15:30	17:00	17:45
登庁、メール確認、書架整理	図書館システムのアップデート	イベント広報物作成	昼休み	ホームページの更新	図書館システム業者との会議	図書展示準備	メール確認	退庁

得られ、オールラウンダーな司書になれるところが魅力です。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

イベント開催などを通じて学びの機会を提供できることや、事業をやり遂げた達成感がやりがいに繋がっています。知識や経験を活かし、利用者が求める情報を提供したり困りごとを解決したりする手助けができることに司書の仕事の面白さがあります。この経験が、県民のみなさまの課題解決に役立つと考えています。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

県図書館は様々な方が来られるため利用者の方から学ぶことも多いです。また、自分と同じ司書職員と働けるのも特徴のひとつです。業務ごとに係が分かれており、より専門性を高められる職場です。県図書館以外の所属では基本的に1人で図書館を運営するため、仕事をマネジメントする力が身に付きます。一から企画した事業への反応がダイレクトに得られる職場でもあります。



図書館
渡辺 沙羅
異動歴 H27年 採用
H31年 中津高等学校
R4年 現所属

司書

農学



岐阜農林事務所
植松 晃弘

異動歴
H27年 採用 農業経営課
H29年 飛騨農林事務所
H31年 西濃農林事務所
R2年 農産園芸課
R4年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

主な業務は、“花”の生産者の経営支援です。岐阜県が育成したオンリーワン品種の栽培技術指導や生産者から依頼された生育障害の調査診断などを通じて、農業経営の発展に向けた支援を行っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

短大で初めて農業について学び、やりがいや魅力に触れた反面、経営には多方面からの支援が必要だと気づきました。生産者と一緒に課題解決に取り組み、栽培の効率化や農業経営の安定化に貢献することで、農業を誰もが憧れる産業にしたいと考え志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

岐阜県は耕地の高低差が約1,000m以上あり、その変化に富んだ自然条件の下で栽培される多種多様な品目と、それらを生産する多くの生産者と関わることができます。そうして得た現場の声に対して、行政・普及・研究の様々な立場から課題解決に取り組み、多方面から農業の振興

ある日のスケジュール

8:30	9:00	12:00	13:00	13:30	16:00	17:15
登庁・出張準備	県育成品種の栽培指導	昼休み	メール確認、照会の回答	鉢花培養士の土壌診断	調査データのパソコン入力	退庁

に貢献することができるのが魅力だと思います。

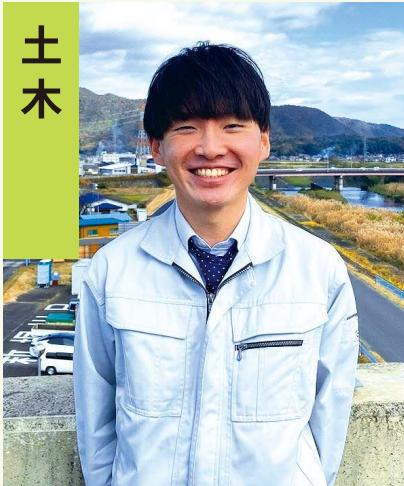
Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

やりがいを感じる瞬間は、生産者から感謝の言葉をいただけた時です。日々寄せられる生育障害の原因の調査診断をした時をはじめ、特に、こちらからの提案が生産者の悩みの解消に結び付き、経営や栽培管理の合理化に貢献できた時などはとても嬉しく、日々の業務の原動力になっています。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

経験したことがない品目を担当することになって、専門知識が豊富な先輩方が事務所にいるので、いつでも相談し、アドバイスをいただくことができます。栽培技術や病害虫の診断方法だけに留まらず、生産者との信頼関係が欠かせない仕事だからこそ、指導方法や関わり方についても相談できるので、安心して働くことができます。

土木



岐阜土木事務所
石原 光基

異動歴
H30年 採用 道路建設課
R2年 古川土木事務所
R4年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

都市計画道路を整備する工事の発注、監督業務を行っています。予算資料作成や事業スケジュール検討など事務作業が多いですが、現場状況をより把握するために頻繁に現場へ向かうよう心掛けています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

地元である岐阜県の職員として、大学で学んだ土木の知識をインフラ整備やその維持管理に活かすことで、家族、友人など周りの人の暮らしや、街づくりに貢献したいと思ったことがきっかけです。他にも大学などで話を聞いていくなかで、ワークライフバランスの点でも働きやすい職場だと思い、岐阜県庁を志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

岐阜県は地形の特性上、トンネルや橋梁等の大型施設の建設など、やりがいのある仕事に従事できるチャンスが数多くあります。また、複数の市町村を結ぶ幹線道路や河川の整備など大規模事業に携わることができることも

ある日のスケジュール

8:30	9:00	9:30	11:00	12:00	13:00	15:00	17:15
登庁	メール・書類の確認	工事現場立会	工事実施設計書の作成	昼休み	設計コンサルタントとの打合せ	予算資料の作成	退庁

県の技術職員として働く魅力だと思います。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

様々な困難を乗り越えて私たちが進めてきた仕事が目に見える形で形に残り、そして県民のより良い生活に寄与できることにやりがいを感じています。開通した道路にたくさんの車両が走っているのを見たり、地元の方から感謝の言葉を頂いたりしたときには、この仕事に携わって良かったと思いました。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

同僚はもちろん先輩や上司にも気軽に相談ができ、困ったときは先輩達の豊富な経験と知識にいつも助けられています。土木の仕事はチームで進めていくものだと改めて感じることができる職場環境です。また、仕事にメリハリをつけることで、残業時間を減らし、積極的に休暇を取得できています。

農業土木



下呂農林事務所
杉浦 隆斗

異動歴
H30年 採用 恵那農林事務所
R3年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

農道の新設工事や田んぼの区画を大きくするほ場整備工事、老朽化した用排水路を改修する工事の担当をしています。工事では監督業務のほか、調査設計業務の発注や工事箇所の地元調整などを行っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

大学では農業土木について学んでいました。将来は学んだ知識を活かした仕事に就きたいと考えていたとき、岐阜県職員の農業土木職を知りました。大学は県外でしたが、帰省するたびに生まれ育った岐阜県の良さに魅力を感じて、岐阜県で働きたいと思い志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

私の職種では特に地元農家と深く関わることが多いです。地域の様々な特産物（米、トマト等）の生産基盤となる田んぼ・畑の工事は、その作物や地域状況に合わせた設計・施工が必要となり苦労することも多いのですが、工事後に「工事前より耕作しやすくなった、ありがとう」と農

ある日のスケジュール

8:30	9:00	11:00	12:00	13:00	14:00	16:00	17:00	17:15
登庁・メール確認	工事現場立会	打合せ・立会資料確認	昼休み	建設コンサルタントとの打合せ	地元関係者と工事現場立会	工事現場立会書類作成	メール確認	退庁

家の方から直接声をかけていただけたところが魅力です。

Q4 一番印象に残っている仕事を教えてください。

前の所属で担当していたほ場整備工事です。営農されている方や他の官公庁との調整に非常に苦労することもありましたが、工事完成後営農されている方から感謝の声をかけてもらい、頑張ってたかったことが一番印象に残っています。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

上司や先輩職員に相談しやすく風通しのよい職場です。また、若手職員同士の交流もあり、職種問わず困ったことがあればお互いに相談することができます。また、水曜日のノー残業デーや「8のつく日」といった定時退庁を推進する日があり、メリハリをつけて仕事をすることができることも大きな魅力だと思います。

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

森林・林業に関わる管理・取組みの支援を行っています。具体的には、森林の間伐や再造林などへの補助事業に関する事務、森林の施業に携わる事業者への支援を行っています。森林環境教育の支援のため学校へ赴くこともあります。

Q2 入庁前と入庁後のギャップはありましたか。

大学では森林生態学を専攻し、少しでもその知識を活かして森林の管理を支援していきたいと思い入庁しました。森林整備関係の業務をするものと考えていましたが、最初の担当は治山事業で森林土木工事の施工管理をする業務であり、仕事の幅広さに驚きました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

担当する業務は、森林整備から治山事業、森林開発の規制、森林環境教育や木材利用拡大、特用林産振興など多岐にわたります。森林に対し、非常に多様な視点で関与できることが魅力だと思います。

ある日のスケジュール

9:00	10:00	12:00	12:45	13:45	15:30	17:30
登庁(時差出勤30分遅出)、メール確認	森林組合のヒアリング	昼休み(休憩時間15分短縮勤務)	現場へ移動	森林作業道に対する補助事業の現地検査	検査調書作成、メール確認	退庁

Q4 一番印象に残っている仕事を教えてください。

森林文化アカデミー在籍時の岐阜県地域森林監理士養成研修です。林業事業体のプランナー向け研修の開催事務方という立場で関わりましたが、研修に立ち会う中で自身の知識も高められた面白い役回りでした。ここでの経験が林業普及指導員の資格取得や現在の業務にも活かされているように思います。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

上司や周りの職員は相談に乗ってくれますし、休みも取得しやすいです。息子の誕生にあわせて育児休業を3か月取得し、それ以降は育児部分休業や遅出勤務を行っています。最近ではテレワークも可能になり、ワークライフバランスのとれた柔軟な働き方ができる環境だと思います。



森林科学

西濃農林事務所
牧村 郁弥

異動歴
H25年 採用 恵那農林事務所
H28年 自然環境保全課
H29年 森林文化アカデミー
R4年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

飛騨地域(高山市、飛騨市、白川村)の畜産振興(酪農・養豚・養鶏・養蜂)を行っています。業務としては、畜舎の施設整備や自給飼料収穫機の導入等により、生産基盤の維持・強化を図る事業や各畜種の団体活動の補助・支援を実施しています。また、畜産農家への巡回により現場での課題を把握し、改善に向けて一緒に取り組んでいます。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

実家は岐阜市内で酪農を営んでいます。牛とともに生活することが当たり前となっていたので、将来は畜産業に携われるような仕事に就きたいと考えていました。また、畜産関係の高校や大学に進学し、様々な経験をすることで、岐阜県の畜産を盛り上げることができる仕事の一つとして岐阜県職員を志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

岐阜県には、「飛騨牛」に代表される全国的なブランドが数多くあります。その中で、県職員として、素晴らしい

ある日のスケジュール

8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	16:30	17:15
登庁・メール確認	資料作成	畜産農家巡回	昼休み	補助事業確認調書の作成	補助事業完成検査立会	メール・資料確認	退庁

技術を持つ生産者、関係機関と一緒に仕事ができることは、とても魅力的だと思います。また、畜産といっても様々な畜種があるため、畜種に応じた技術や知識を習得でき、幅広く仕事に携われることも魅力です。

Q4 一番印象に残っている仕事を教えてください。

2年目、3年目に経験した「豚熱」の対応です。岐阜県では26年ぶりに平成30年9月に豚熱が発生しました。当時、恵那農林事務所勤務でしたが、災害ともいえる未曾有の経験に対して、動員確保や仮設テント・集合場所の設置等、畜産分野以外の県職員や、市・JA等の関係機関と連携・協力して仕事できたことは今でも印象深いです。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

一人で考えすぎず、困ったことや悩み事等があれば気軽に相談できるとてもよい環境です。2、3年程度で異動することが多いですが、どの職場でも優しい上司や先輩、同期と仕事ができ、日々楽しく仕事できています。また、リフレッシュとして休暇も気軽に取得できるため、プライベートとの両立もできます。



畜産

飛騨農林事務所
箕浦 睦也

異動歴
H29年 採用 恵那農林事務所
R2年 農産物流通課
R4年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

岐阜県は海なし県ですが、全国屈指の鮎、溪流釣りの漁場があり、地域の重要な資源となっています。私は、主に補助金を通じてこの漁場を管理している漁業協同組合の活動を支援する業務を行っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

私は、生物の生態や人間との関わりについて興味があり、大学では干潟の生態をテーマとした研究に取り組んでいました。そんな中、公務員として水産の研究や普及を行う仕事があると知り、出身地である岐阜県でこのような働き方ができればと思い、志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

水産の技術職員は、研究所と県庁の両方で勤務する機会があります。研究所は技術開発やその普及などを行います。県庁は許認可や補助金業務の他、必要となる事業の立ち上げ等を行います。実際に魚を触りながらの現場の仕事から、新たな制度づくりに関わる仕事まで、幅広い

ある日のスケジュール

8:30	9:00	12:00	13:00	15:00	16:30	17:15
登庁・メール確認	漁業協同組合にて補助金の確認検査	昼休み	確認復命書の作成	事業説明会資料の作成	メール・打合せ資料確認	退庁

視点で仕事ができることが技術職の魅力だと思います。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

現在、10年後の水産業の状況を見据え、水産業の振興計画を策定しています。この計画では、より魅力的で持続的な活力ある漁場づくりを目指しています。また、必要となる新たな補助制度の創設も同時に行っています。様々な関係者の意見を取り入れながら計画や制度を作り上げていく過程に面白みを感じています。

Q5 困難な事例があったときにどうやって解決されましたか

県職員の仕事は多岐にわたり、一人の力だけでは解決できない事に直面することも多くあります。そのような時には、一人で抱え込まず、係や課の皆で助け合いながら仕事を進めるようにしています。また、経験豊富な上司や先輩方に相談すると、良いアドバイスがいただけるので心強いです。



水産

里川振興課
田中 綾子

異動歴
H29年 採用 水産研究所(本所)
H31年 水産研究所(下呂支所)
R2年 現所属

建築



公共建築課
清水 一磨

異動歴
H30年 採用 県庁舎建設課
R2年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

現在は主に岐阜県の建築設計や建築工事にかかわる資料の作成等を行っています。具体的には建築工事の仕様書や設計単価、要領等の作成です。昨年度は県有施設（学校や庁舎）の建築物の設計、工事業務に携わっていました。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

もともと利益を追求する企業よりも住民の幸福のために働くことに興味があり公務員を志望していました。岐阜県庁を志望したきっかけは大学生の時にあった職場紹介です。その時に紹介された、現在の上司である岐阜県職員の方の熱意や仕事への魅力に惹かれ、岐阜県で働くことを志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

工事業務であれば、現在老朽化を迎えた学校校舎の建替え計画が順次進んでおり、若い職員にも大きな設計や工事に挑戦するチャンスがあります。建築指導業務であれば、全国でも珍しい構造計算の審査を専門に行う部署が

ある日のスケジュール

8:30	9:00	11:00	12:00	13:00	16:00	17:15
登庁・メール確認	工事仕様書の作成	工事現場へ移動	昼休み	現場打合せ・現場立会	帰庁・工事書類確認	退庁

あり、より実務的な構造の知識を習得することができず。その他、都市政策や建築の担い手育成の業務に携わることもあります。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

現在の主な仕事内容は建築工事に係る資料作成業務と県庁内で建築に対するアドバイスを求めている方への窓口業務です。それだけに課内・課外を問わず頼られること、感謝されることが多く、皆さんの業務の一助となれていることに大きなやりがいを感じています。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

私は岐阜県の出身ではなく親族も住んでいませんが、岐阜県職員の皆さんはとてもフレンドリーで、岐阜県出身でない方にもおすすめできる職場です。休みも取りやすく、繁忙期でなければ定時に帰ることも多いです。また、2023年からは新庁舎へ転移し、より綺麗で働きやすい職場になっています。

電気



東部広域水道事務所
大橋 永

異動歴
R4年 採用 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

私の所属する山之上浄水場は、1日約50,000㎡の水道水と約4,500㎡の工業用水を岐阜県の可茂地域へ供給しています。いつでも安心安全な水道水を供給するために、日常点検や老朽化した施設と設備の更新工事・修繕工事の設計、監督を行っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

私は学生時代に電気工学を専攻していました。学んだ電気の知識を活かせる仕事をしたいと考えていたところ、岐阜県で電気職の募集があり、専門的な知識を活かして社会基盤を支える一翼を担いたいという思いから志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

インフラの整備・維持管理など、電気職の技術職員として、県民の安心安全な生活を支える仕事をしています。専門的な知識を活かして仕事をすることができ、また、職場において仕事に必要な技術系資格を取得するためのサ

ある日のスケジュール

8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	16:30	17:15
登庁・メール確認	施設維持管理に関する事務作業	工事業者との打合せ	昼休み	工事現場立会	施設点検	工事資料確認	退庁

ポートが手厚いことも魅力的です。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

経験が浅いため技術的な知識・技能は未熟ですが、先輩や上司にアドバイスをいただくことで確実に成長していると実感しています。新しい知識・技能を習得することができるようになると仕事がぐっと面白くなります。私たちと一緒に仕事をしましょう！

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

現在の所属では、化学・機械・土木など電気職以外の技術職員と一緒に仕事をします。仕事をする中で電気以外の知識を必要とする場面が多々ありますが、他の技術職員からアドバイスをいただけるので、幅広く知識を身に付けることができる環境だと思っています。また、ノー残業デーや「8の付く日」に定時退庁を促す取り組みもあることから、メリハリをつけて仕事をすることができます。

機械



東部広域水道事務所
井戸 雅樹

異動歴
H27年 採用 東部広域水道事務所
H30年 県庁舎建設課
R2年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

県営水道施設の管理及び工事監督を行っています。具体的には、道路に水道管を埋設する工事監督や、地中深くに水道管を通す工事のための設計業務、水の流量測定のための流量計を更新する工事監督を主に行いながら、あらゆる機器不具合や緊急事故にも対応しています。

Q2 入庁前と入庁後のギャップはありましたか。

入庁前は機械に関する仕事をずっと思っていたのですが、水道事務所では機械分野の専門知識を活かした維持管理業務にとどまらず、時には電気・土木工事等の発注業務をはじめ職域区分を超えた多様な業務に携わる機会も多いと感じています。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

水道事務所では職種に関係なく幅広い分野の仕事をこなす必要があるため、自然と様々な知識が身につくことが、魅力だと感じています。

ある日のスケジュール

8:30	8:35	11:00	12:00	13:00	17:15
浄水場へ登庁・監視操作業務員との引継ぎ連絡交換	工事書類確認	現場で工事施工業者と打合せ	昼休み	工事現場立会	浄水場へ帰庁後、退庁

Q4 一番印象に残っている仕事を教えてください。

非常用発電設備を更新した工事が印象に残っています。昭和40年代製の発電機で当事務所としては最古の発電機であり、工事中も多くの課題に対し、ひとつひとつ処理していくのが大変でした。また、経済産業省等の関係機関との調整や書類申請が多く苦しりましたが、無事工事を完成させたときは、様々な知識を身につけることができよかったですと感じました。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

私自身、最近子供が生まれ、育児休業を取得しました。岐阜県では男性の積極的な育児参加に力を入れており、取得しやすい環境にあると感じています。また、計画的に業務を行うことにより、年次休暇も取得しやすい雰囲気であると思います。

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

県内11市町の約50万人に水道水を供給する県営水道の水質管理に関する業務を行っています。水道法に基づく毎月の水質検査や水質汚染事故時の対応などを最新の分析機器を駆使して実施しています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

私は岐阜県で生まれ育ち、大学では分析化学を専攻しました。将来はそこで学んだ化学の知識を活かしつつ、地元で岐阜県行政に携わる仕事をしたいと考え就職活動をしてきたところ、水道水の水質管理などに関わる化学職の募集を知り、岐阜県職員を志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

最新の分析機器を揃える充実した施設で働くことができ、分析に関する研修に参加する機会も設けられているため、日々新しい知識・技術に触れながらスキルアップすることができます。また職場には電気・機械・土木など様々な職種の職員がおり、多くの分野に触れることで技術者

ある日のスケジュール

8:30	8:45	9:00	12:00	13:00	16:30	17:15
登庁・メール確認	運転監視業務員との打合せ	採水業務	昼休み	水質検査	メール・打合せ資料確認	退庁

として成長できると感じています。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

水質検査は地道な作業ですが、地域の方々に水道水を安心して利用していただくため、水道水の安全性を保つ責任のある仕事だということに誇りをもっています。利用者の方々と接する機会は多くありませんが、見学者の方などから毎日おいしく水を飲んでいると聞いた時には、充実感を覚えました。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

私が働いている水質試験棟は、平成27年度に完成した新しい施設です。コンタミネーション対策のため装置ごとに部屋が分かれており、試薬・器具類が清潔に保たれているので、気持ちよく業務を行うことができます。また、経験豊富な上司や先輩職員が多く、試験操作などを丁寧に指導してもらえ、恵まれた環境であると感じます。



化学

東部広域水道事務所
菱田 真弘

異動歴
H26年 採用 東部広域水道事務所
H29年 岐阜県浄水事業公社派遣
R3年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

現在の所属では、薬局や医薬品販売業の許可事務を担当しており、許可申請書の審査を行っています。その他にも、事業者からの所管する法律に関する相談を受けたり、必要に応じて事業者への指導を行ったりしています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

入庁以前は、医療機関に勤務し、薬剤部での調剤や、病棟・外来での患者さんへの服薬指導に従事していましたが、学生時代から衛生の分野や薬事に関する法規等に興味があり、行政薬剤師という仕事に魅力を感じたため、岐阜県庁を志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

衛生薬学や化学等、大学で学んだ知識を仕事に活かすことができるのが魅力です。また、薬剤師や医療関係者以外の多くの職員と協力して業務に取り組むことができ、様々な知識や経験を身に付けることができ、見識を広げることができます。

ある日のスケジュール

8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	16:00	16:30	17:15
登庁・新聞記事確認・メール確認	国からの通知等の関係団体への周知	許可申請書の審査	昼休み	保健所との立入検査	立入検査の報告書の作成	事業者からの相談・問い合わせ対応	国からの照会への対応	退庁

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

医療機関に勤務する薬剤師とは違い、患者さんと直接関わることはありませんが、薬局や薬剤師に関する事業を計画・実施したり、法律や制度が変わった際の事業者への周知や相談応需等を行うなど、間接的ですが県民の健康増進や公衆衛生の向上に寄与することにやりがいを感じています。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

上司や同僚に協力を求めたり、気兼ねなく相談できる環境のため、困難な事例に直面した時にも一人で抱え込んでしまうことがありません。またウェブ会議システムの導入や業務の電子化の促進等により、業務の効率化が図られています。



薬剤師

薬務水道課
三好 貴也

異動歴
H27年 採用 東濃事務所
H30年 廃棄物対策課
R4年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

家畜伝染病の発生予防のため、家畜伝染病予防法等に基づいて検査や指導を行い、万が一発生した場合には広がらないよう迅速な対応を行います。生産性の向上、優良家畜の改良増殖、動物用医薬品や飼育動物診療施設に関する指導も行っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

大学で家畜衛生に関心を持ち、家畜保健衛生所をもつ都道府県で公務員獣医師になりたいと思うようになりました。そのなかで岐阜県を選んだ理由は、小さい頃から慣れ親しんだ地域で飛騨牛をはじめとする家畜の衛生に携わり、また畜産物以外の果物や野菜など、自分を育ててくれた食の安全・安心を守りたいと思ったからです。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

畜産の規模は全国的には中ほどですが、飛騨の山々、美濃の清流に囲まれた豊かな環境のなかで飼養されており、夏山冬里方式による放牧を活用した黒毛和牛の生産の多

ある日のスケジュール

8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	17:15
登庁・メール確認	家畜人工授精所の許可書類の作成	家畜改良増殖法に関する手続きの相談	昼休み	動物用医薬品を取り扱う業者への立入検査	立入検査結果の取りまとめ、許可書類等の作成	退庁

い飛騨地域をはじめ、地域ごとに特色のある環境で働くことができます。また、二つの家畜保健衛生所に病性鑑定係が設置されており、検査体制も充実しています。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

現在の所属は、家畜保健衛生所などと比べデスクワークが中心になるので、牛が触りたい！と思うこともありますが、現場では一担当者として行っていた業務の全体を見て理解を深めることができ、大切な仕事だと思っています。また、最新の関係法令等をしっかり確認しながら対応する必要があり、やった分だけ知識が増えていくのはやりがいがあります。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

本庁は現地機関と違って獣医師以外の専門職や行政職が多く、それぞれの知識を活かしながら仕事をしています。経験豊富な先輩方が多く、わからないことがあればすぐに相談できる環境なので、安心して仕事ができます。



獣医師

家畜防疫対策課
宮木 乃里子

異動歴
H28年 採用 飛騨家畜保健衛生所
H31年 飛騨県肉衛生検査所
R3年 現所属

保健師



恵那保健所
田口 未夏

異動歴
H30年 採用 西濃保健所
R2年 飛騨保健所
R3年 保健医療課
R4年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

結核や性感染症、新型コロナウイルス感染症等の感染症対策の業務を主に担当しています。具体的には、感染症対策の知識の普及活動や健康診断の実施をはじめ、患者さんからの相談に対し、安心して治療を受けられるようアドバイスも行っています。

Q2 入庁前と入庁後のギャップはありましたか。

学生時代は、県の保健師と聞くと対人業務が少なく事務が多いというイメージがありました。しかし入庁してみると、患者さんをはじめ県民の方と関わる業務は想像よりはるかに多かったです。また、患者さんとの関わりだけでなく、地域の医療機関や市町村担当者、他の専門分野の県職員等、様々な関係機関と関わる場面が多いので、学ぶことが多くとても刺激的です。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

保健師としての知識を活かし、自ら情報収集し岐阜県の健康課題解決のために関係機関と協働し一丸となって取

ある日のスケジュール

8:30	9:00	12:00	13:00	15:00	16:00	17:15
登庁・メール確認 新型コロナウイルス感染症調査、入院調整等	特定感染症 検査	昼休み	新型コロナウイルス感染症 高齢福祉施設調査等	関係機関との事業に 関する打合せ	結核訪問記録・ 統計資料作成	退庁

り組めるのは、岐阜県の保健師として働く魅力だと考えます。すぐには結果が見えないことも多いですが、長期的な視点を持ち定期的に評価し取り組みを進めています。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

患者さんが治療を完遂されたときはもちろん、困難事例等に対して他職種の職員と専門性を活かしそれぞれの立場から話し合い、課題の解決に向けて動いている時はとてもやりがいを感じます。

Q5 困難な事例があったときにどうやって解決されましたか。

周りに相談するようにしています。自分だけでは気付けなかった新しい視点からのアドバイスが貰えたり、声に出すことで自分の中でも整理できるからです。そんな時に相談できる、尊敬する上司や先輩、何でも話せる同期に恵まれたおかげで、楽しく仕事ができています。

管理栄養士



可茂保健所
前田 めい

異動歴
H31年 採用 飛騨保健所
R2年 関保健所
R3年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

県民の野菜摂取量の増加のための普及啓発、給食施設の栄養管理向上に向けた支援、栄養成分表示等の食品表示の相談対応や監視指導、地域での食生活改善に向けたボランティア活動の支援等を行っています。

Q2 入庁前と入庁後のギャップはありましたか。

入庁前は、大学で大量調理について等の講義や実習等を通じて、管理栄養士になるための知識や技能を身につけたと思っていました。しかし、実際に働く中でより幅広い知識が求められていることに気づきました。栄養に関する支援を行うことの重要性を改めて感じました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

野菜ファーストをキーワードに、岐阜県民の野菜摂取量の増加を目指しています。野菜をたくさん摂取できる新たな食環境づくりや野菜摂取の重要性の普及啓発を推進するため、例えば道の駅等での啓発や、企業やボランティアと協働した食環境の整備に取組んでいます。県民の健

ある日のスケジュール

8:30	9:00	12:00	13:00	15:00	17:15
登庁・メール確認	食生活改善推進員研修会	昼休み	県民栄養調査調査票入力	県民栄養調査調査票回収	退庁

康増進に向け、担当地域の特性に合わせた取組みを主体的に企画することができます。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

行政の仕事は、デスクワークが多いと思っていましたが、実際の栄養に関する支援は様々な方と関わる事が多いです。例えば企業へ向かい、野菜摂取量の増加のため継続的に介入した際に、従業員から「食生活が改善した」との声を聞いた時など、管理栄養士としての働きかけができたやりがいを感じます。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

保健所は、様々な職種の方と仕事をする事が多いため色々な刺激を受け、学ぶことが多いです。また、上司や先輩職員に気軽に相談することができ、周囲と協力して仕事を進めることができます。

市町立小中学校等事務職員



瑞浪市立瑞浪小学校
牧戸 陸

異動歴
H28年 採用 下呂市立小坂小学校
H31年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

主に総務・学務・人事・給与・財務など学校に関わる事務全般を行っています。また、市内の事務職員等と連携・協働して地域全体の教育環境整備を行うなど、子どもたちの豊かな育ちを目指した取組を進めています。

Q2 採用前と採用後のギャップはありましたか。

事務職員のみで様々な仕事をしなければならないという気持ちで学校での勤務をしましたが、実際には教職員の皆さんと協働しながら業務を進めています。また、事務処理以外にも学校運営への参画や施設設備の整備、保護者・児童生徒への対応、外部機関との連携など、学校を支える重要な仕事であると感じています。

Q3 市町立小中学校等事務職員として働く魅力を教えてください。

より現場に近い場所で勤務できることが魅力です。特に教育現場は教職員としての立場で専門的に務めることが求められます。子どもたちと直接関わることも多くあり、成長を感じられることもあります。仕事への向き合い方

ある日のスケジュール

8:10	8:20	9:00	10:30	11:30	12:25	13:10	14:00	15:00	16:40
出勤	メール・郵便物確認 及び文書受付等	出勤簿整理、 給与事務処理等	教務会に 出席	予算の執行手続き、 学校徴収金関係書類の点検	給食	物品の在庫確認・ 点検及び補充	学校運営支援室の 資料作成	校内巡回、 施設設備の点検	文書回収、 退校

次第で、業務の幅も広がります。小中学校事務職は多くの魅力が詰まっています。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

予算を活用して購入した教材を子どもたちが授業で活用しながら一生懸命取り組む姿や、整備された環境で子どもたちが嬉しそうに生活する姿などを直接見ることが出来ます。行政職でありながら、業務の成果を子どもたちの成長や笑顔で直接感じられることがやりがいです。

Q5 困難な事例があったときにどうやって解決されましたか。

まずは問題の原因を認識し解決策を考えます。その時点で自らの力で解決できることは迅速に対応しています。検討が必要な事例の場合は、管理職（校長、教頭等）や市内事務職員、市町村教育委員会などと連携し、最適な方法で対応することを心掛けています。

ワークライフバランス

岐阜県では、一人一人のワークライフバランスの実現に向けた職場づくりに取り組んでいます。

土木

美濃土木事務所
牧村 尚浩

異動歴
H27年 採用 大垣土木事務所
H29年 河川課
R2年 長良川上流河川開発工事事務所
R4年 現所属



育児休業取得率

男性
70.7%

休暇制度等の取得状況

●配偶者の出産休暇、育児休業 (R4年5月～R4年7月)

(令和3年度・知事部局)

Q1 育児休業の取得にあたって不安はありましたか。

自分が休業することで代わりに業務を担当する上司や同僚に負担をかけないか、家庭では自分が育児にどれだけ役立つか、復帰後はブランクの影響なくスムーズに業務を遂行できるか、いろいろと不安がありました。

Q2 育児休業を取得してみてどうでしたか。

育児は予定どおりに行かないことばかりだと妻の苦労を知りましたが、子どもたちの近くにいられるだけで家族の一員としてできることがたくさんあることがわかりました。また、職場に復帰した際は、慣れるまでは少し大変でしたが、職場のサポートのおかげで無理なく対応できました。この育児休業を通じて、生まれたばかりの次男の成長を日々近くで感じられたこと、長男とも多くの時間を共有できたことは、とてもいい思い出になりました。

Q3 仕事と子育てを両立するために心がけていることはありますか。

仕事が忙しい時は、子ども達が起きている時間に帰れないこともありますが、朝は子ども達と接する時間を確保するようにしています。早く帰ることができた平日や休みの日は子どもをお風呂に入れることが日課です。あまり無理をせず、子ども達と過ごす時間をできるだけ増やしていければと思っています。



ある日のスケジュール

8:30	9:00	11:00	12:00	13:00	15:00	17:15	19:00
登庁・メール確認	施工業者との打合せ	測量設計業者との打合せ	昼休み	工事現場立会	工事実施設計書の作成	退庁	子どもとお風呂

行政

観光企画課
魚澤 智子

異動歴
H24年 採用 地域産業課
H26年 国際戦略推進課
H27年 観光誘客課
H31年 統計課
R4年 現所属



育児休業取得率

女性
100%

休暇制度等の取得状況

●産前産後休暇、育児休業 (H28年11月～H31年3月)
●育児部分休業 (16:00～17:00)・休憩時間15分短縮 (H31年4月～現在)

(令和3年度・知事部局)

Q1 育児部分休業を取得してみてどうでしたか。

打合せや出張などで退庁が遅くなることもありますが、基本的に時間通り帰らせてもらっています。職場の皆さんも理解があり、帰りにくい雰囲気がありません。夕方～夜の時間は、夕飯やお風呂、就寝準備など、時間がいくらあっても足りないくらいなので、この制度を活用して本当によかったです。

Q2 職務復帰にあたって不安はありましたか。

子どもがいつ体調を崩すのか分からないので、仕事の予定が立てられるのか、職場に迷惑をかけないか、不安でした。復帰して4年目になりますが、迷惑をかけたことは数知れずあり、毎回申し訳なく思いましたが、職場の皆さんの「お互い様」という言葉に救われました。

Q3 仕事と子育てを両立するために心がけていることはありますか。

両方とも100点を目指さないことを意識しています。限られた時間の中で、仕事も子育ても、自分がやりたいと思っているレベルまでできないもどかしさがありますが、無理をして体調を崩したことがあるので、家事など適度に手を抜きつつ、できる範囲で頑張ることを心がけています。



ある日のスケジュール

7:30	8:30	9:00	10:00	12:00	13:30	16:00	17:00
保育園へ送り	登庁・メール確認	資料作成	事業の進捗確認	昼休み (休憩時間15分短縮勤務)	動画撮影現場の下見・打合せ	退庁 (部分休業1時間)	保育園へ迎え

ワーク・ライフ・バランスに関する主な制度

制度	給与	内容・期間等	子育て
産前・産後休暇	有給	産前、産後にそれぞれ8週間以内(女性のみ)	
配偶者の出産休暇	有給	妻が出産のために入院した日から出産後2週間までの期間で、2日以内(男性のみ)	
男性職員の育児参加休暇	有給	出産予定日前8週間から出産日後1年までの期間で5日以内(男性のみ)	
育児の時間	有給	生後1年になるまでの期間、1日2回各々少なくとも30分	
育児休業	無給	子が満3歳に達する日まで	
育児部分休業	無給	小学校就学前の子を養育する場合、1日2時間を超えない範囲で30分単位	
家族の看護のための休暇	有給	子を看護する場合など、1年に5日以内(義務教育終了前の子が2人以上の場合は10日以内)	
育児のための早出・遅出勤務		一定の要件を満たす場合、始業及び終業の時間を繰り上げ又は繰り下げて勤務することができる	
育児短時間勤務	無給	小学校就学前の子を養育する場合、4つの勤務パターンで短時間勤務ができる	

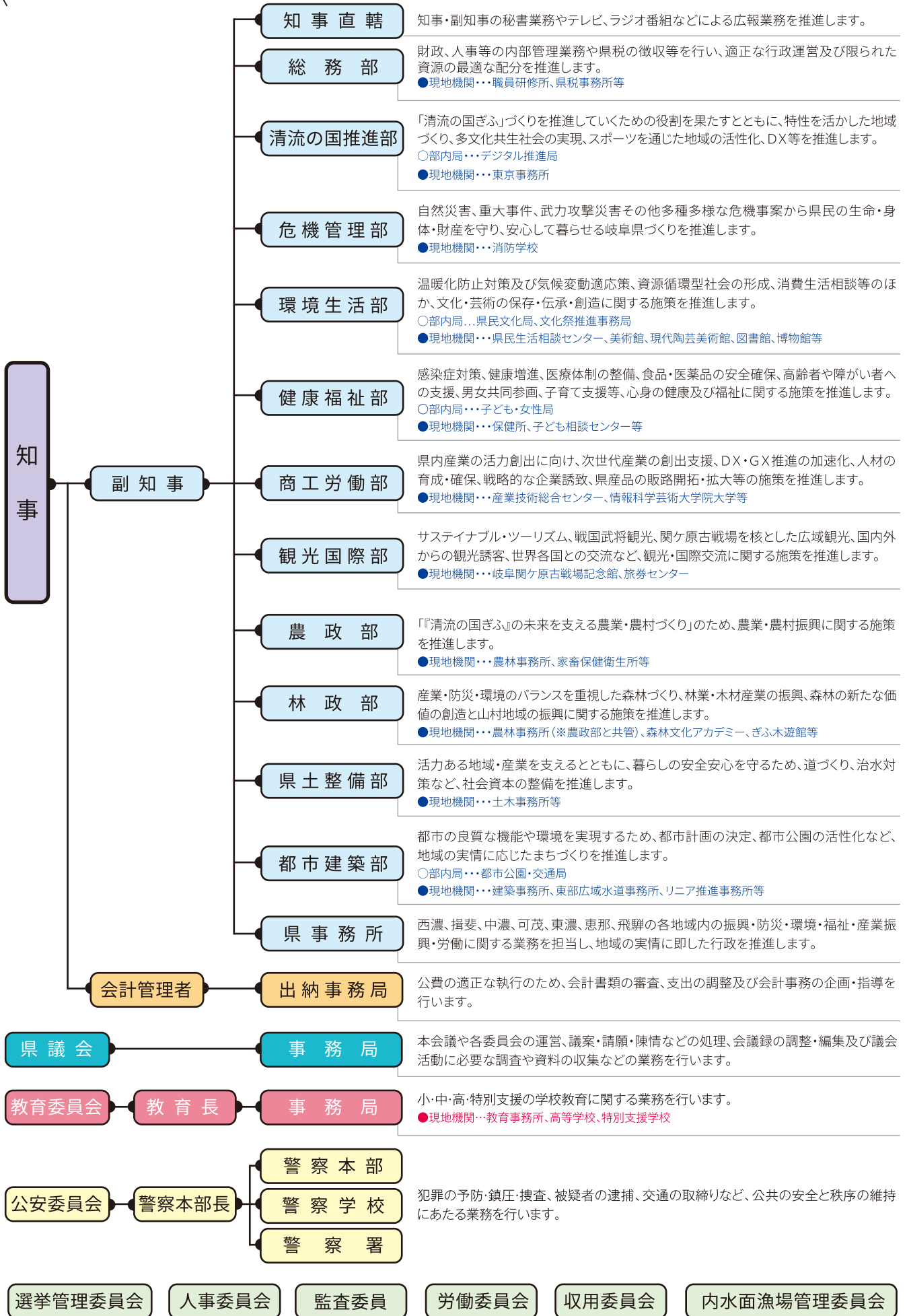
制度	給与	内容・期間等	介護
短期介護休暇	有給	父母などが2週間以上日常生活を営むのに支障がある場合、1年に5日(要介護者が2人以上の場合10日)以内	
介護休暇	無給	父母などが2週間以上日常生活を営むのに支障がある場合、介護を必要とする期間内で必要な期間(通算6ヶ月を超えない範囲内)	
介護時間	無給	父母などが2週間以上日常生活を営むのに支障がある場合、連続する3年の期間内で、勤務時間の始め又は終わりに1日2時間以内	

制度	給与	内容・期間等	自己啓発等
修学部分休業	無給	大学等で修学する場合、2年を超えない期間中、1週間当たりの通常勤務時間の2分の1を超えない範囲内	
自己啓発等休業	無給	大学等課程履修の場合、2年(特に必要な場合は3年)の範囲内、国際貢献活動に参加する場合、3年の範囲内	
ボランティア休暇	有給	社会通念上一般に「ボランティア」とされるものに参加する場合、1年に5日以内	

※無給については、各制度を取得する日・時間数に応じて給与から一定額が減額されます。

県の組織

令和5年4月1日現在



職種別業務内容

※この掲載のある職種については、令和5年度に採用募集があるとは限りません。
詳細は必ず令和5年度の各試験案内で確認してください。
※掲載した職種は主なものです。
※配属先は主なものの例示であり、記載外の配属先となる場合があります。

行政・事務

県政全般に関する企画立案・調整、危機管理・防災、県税の徴収、県民の健康と福祉の増進、農林水産業・商工業・観光の振興、道路・河川や県営施設等の維持管理、高等学校事務等の業務に幅広く携わります。

主な配属先

本庁各課、議会事務局、各種委員会事務局及び県事務所、各部現地機関など

福祉・心理

県民福祉の向上を図るため、子ども相談センターにおける児童や家族等への相談・支援、児童自立支援施設での児童への生活指導のほか、福祉関係所属で相談・支援等の業務に携わります。

主な配属先

子ども相談センター（児童相談所）、児童自立支援施設など

農学・農業

農業の担い手の育成、農産物の安定生産、農村地域の発展等を図るため、農業・農村全般にかかわる企画立案、農業技術の試験研究、普及指導、農村環境の保全等の業務に携わります。

主な配属先

農政部の本庁各課、農林事務所及び試験研究機関など

畜産

畜産業の発展等を図るため、畜産全般にかかわる企画立案、畜産物の生産・流通・消費等の振興、畜産技術の試験研究、普及指導等の業務に携わります。

主な配属先

農政部の本庁各課、農林事務所及び試験研究機関など

水産

鮎等の内水面漁業、養殖業の振興、漁業免許、漁船・遊漁船登録、水産業の試験研究、普及指導等の業務に携わります。

主な配属先

農政部の本庁各課及び試験研究機関など

森林科学・林業

森林の多様な機能を発揮するための森林・林業全般の企画立案、木育・森林環境教育、県産材の利用拡大、森林整備、山地災害の防止、林業技術の試験研究、普及指導等の業務に携わります。

主な配属先

林政部の本庁各課、農林事務所及び森林研究所など

土木

安全で暮らしやすい県土を創造するため、道路や橋、河川やダム、都市開発や下水・公園など基盤施設の新設（計画、設計、施工監理）や維持管理等の業務に携わります。

主な配属先

県土整備部、都市建築部の本庁各課及び土木事務所など

建築

安全な建物・住みよいまちづくりのための建築・宅地開発規制、県有建物の企画・設計・工事監理、住宅に関する企画や公営住宅の建設指導等の業務に携わります。

主な配属先

総務部、都市建築部の本庁各課及び建築事務所など

農業土木

農業の生産性向上をめざす、ほ場整備・かんがい排水事業や、安全で安心な住みよい農村づくりをめざす、農道・防災・小水力発電事業等の計画・設計・施工監理等の業務に携わります。

主な配属先

農政部の本庁各課及び農林事務所など

電気

県の公共施設をはじめ県営水道施設における電気・計装設備工事の設計、工事監督や施設の維持管理業務、計量器の検定や検査、計量関係事業者の指導監督業務に携わります。

主な配属先

総務部、都市建築部の本庁各課及び計量検定所、水道事務所など

機械

県の公共施設をはじめ県営水道施設における機械設備工事の設計、工事監督や施設の維持管理業務、機械設計、機械加工及び機械制御等の研究開発に携わります。

主な配属先

総務部、都市建築部の本庁各課及び試験研究機関、水道事務所など

化学

環境・衛生・工業技術に関する試験研究、県営水道施設における水質の検査・管理等の業務に携わります。

主な配属先

試験研究機関、水道事務所など

薬剤師

薬局や医薬品等製造業者、食品営業施設や市町村水道事業の指導等の健康衛生業務のほか、工場の指導や廃棄物適正処理の推進など環境保全業務にも携わります。

主な配属先

環境生活部、健康福祉部の本庁各課及び県事務所、保健所など

管理栄養士

県民の食生活や栄養状況の改善を進めるとともに、正しい栄養成分表示の指導や給食施設の栄養管理の向上などの食環境整備を行い、県民の健康増進に携わります。

主な配属先

健康福祉部の本庁各課及び保健所など

保健師

県民の健康増進を目指し、生活習慣病予防、感染症予防、母子・精神保健事業や難病対策事業等保健予防に関する専門的な保健サービスの企画などの業務に携わります。

主な配属先

健康福祉部の本庁各課及び保健所など

司書

図書館資料の収集・整理・貸出管理やレファレンス業務のほか、県庁各部局と連携してビジネス支援など県民の課題解決支援事業の企画立案業務、及びその他県機関の図書室業務に携わります。

主な配属先

県図書館、県立高等学校など

警察行政・警察事務

警察運営に必要な予算の管理、庶務、福利厚生、施設管理などの業務に加え、鑑識、犯罪等の統計、交通管制、運転免許事務など県民の暮らしの安全と安心を守る多種多様な業務に携わります。

主な配属先

警察本部、警察学校、県下警察署

市町村立小中学校等事務職員

学校経営をサポートする行政職員として、学校予算や文書事務、教職員の給与・福利厚生などの業務に加え、教育環境の整備等に携わります。

主な配属先

市町村立小中学校等

勤務制度・配属・研修制度等

初任給

(令和5年4月1日現在)

試験名		金額
大学卒程度		195,300円
短大・高校卒程度		161,700円
資格免許職	薬剤師	220,700円
	管理栄養士	201,500円
	保健師	222,700円
	司書	175,700円
市町村立小中学校等事務職員 大学卒程度		195,300円
市町村立小中学校等事務職員 短大・高校卒程度		161,700円

職歴や学歴など、採用前の経歴に応じて一定の基準により加算される場合もあります。

各種手当

通勤、住居、扶養、特殊勤務、時間外勤務などの諸手当が該当者に毎月支給されます。期末・勤勉手当は、年2回(6、12月)支給されます。(合計4.40月分)(令和5年4月1日現在)

勤務時間

月曜日から金曜日の8:30~17:15まで(完全週休二日制)
※研究職の場合は、フレックスタイム制度が利用できる場合があります。
※特殊な勤務形態でも、4週間のうち、概ね8日間の休みとなるようになっています。

休暇制度

- 年次休暇年間20日(4月採用者は15日)
- 病欠休暇、特別休暇(結婚、出産、夏季、ボランティアなど)、介護休暇、育児休業等

配属・異動

県職員

配属 新規採用の県職員は、事務系の場合、本庁、現地機関へおおむね半数ずつ、技術系の場合、約1割が本庁、約9割が現地機関に配属されています。

異動 原則として、最初の部署で2~3年を経た後、本庁に配属されていた者は現地機関へ、現地機関に配属されていた者は本庁へ異動します。その後は、本人の適性や希望(勤務地等)も考慮され、2~3年を目途に異動するケースが多くなっています。

警察行政・警察事務

配属 警察学校(約1か月間)卒業後、それぞれの任地で勤務につきます。

異動 本人の適性や希望(勤務地等)、昇任等により異動します。組織全体の定期異動は原則年2回です。異動の頻度は職員により異なります。

市町村立小中学校等事務職員

配属 市町村立小中学校等に配属されます。

異動 原則として、最初に配属された学校で3年を経た後、2校目に異動します。その後は、本人の希望や生活の本拠地も考慮され、5年以内で異動します。

研修制度

県職員

採用後、1年以内に法令等の基本的な科目に重点を置いた10日程度の新規採用研修を受講します。その後は、昇任時等定期的に職務遂行に必要な研修を受講します。そのほか、職員がスキルアップを図るため各種研修の中から選択して受講できる選択研修があります。

【階層別研修】

各階層への昇任時(新規採用時を含む。)に実施する研修です。

新規採用研修

各所属に配属後、公務員倫理や文書の作成・法令・職場マナー等の基本的な研修を職員研修所にて実施します。また、実地体験型研修として、災害時や緊急時における実践的な対応方法などを習得するとともに、非常事態に備えた公務員としての心構えや行動のあり方等を学ぶため「消防学校入校体験研修」を実施します。

【選択研修】 職務に必要な知識と能力開発を職員自らが選択して計画的に身に付けてスキルアップを図る研修です。

【派遣研修】 国、大学院、海外等へ派遣研修もっており、職務の遂行に必要な知識、技能及び教養を修得します。
▶令和4年度の主な派遣先…内閣府、総務省、財務省、外務省、経済産業省、京都大学大学院等

警察行政・警察事務

採用と同時に警察学校に入校し、全寮制で実施する採用時教養を受けます。

採用時教養

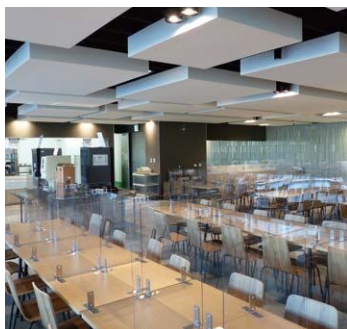
警察学校に約1か月間入校し、職務執行に必要な基礎知識(一般教養、実務教養)について研修を受けます。

市町村立小中学校等事務職員

県教育委員会及び配属された市町村の教育委員会が行う研修を受けます。

福利厚生(施設)等

県庁内には、食堂、売店、職員診療所などが設置されています。また、職員の子どもなどを対象とした県庁内保育所「ぎぶっこ保育園」も設置されています。



県庁2階 食堂



県庁1階 売店



県庁8階 職員診療所



ぎぶっこ保育園

採用試験に関する

Q**&****A****Q**

大学卒程度試験は、大学を卒業した人しか受験できないのですか？

A

「大学卒程度」とは“試験問題の程度が大学卒程度である”という意味であり、大学を卒業（見込みを含む。）した人しか受験できないということではありません。
また、「短大・高校卒程度」の試験問題の程度は高等学校卒業程度であり、こちらも学歴は関係ありません。

Q

受験するために特別な資格や免許は必要ですか？

A

各試験ごとの受験資格（生年月日等）を満たしていれば、その他に必要な資格や免許はありません。ただし、資格免許職については、それぞれの受験資格に定める期日までに必要な資格または免許を取得しないと、最終合格しても採用されません。

Q

職種によって試験を行わない場合もありますか？

A

試験を実施する職種は年度によって異なります。業務量や退職者数などを総合的に判断して採用予定者数を決めているため毎年変動があります。

Q

岐阜県職員の試験を併願することはできますか？

A

それぞれの試験の受験資格を満たしており、試験日が重なっていなければ併願することができます。例えば、4月実施の大学卒程度試験と、6月実施の大学卒程度試験を併願することもできます。どちらの大学卒程度試験であっても、待遇面及び配属などに差はありません。
なお、同一日に実施される試験は、複数区分を申し込むことはできません。

Q

募集される職種や、採用予定人数など試験の詳しい内容はいつごろ公表されますか？

A

募集職種や採用予定人数、試験方法などについては、各試験の試験案内配布開始日に試験案内に掲載して公表します。なお、試験案内は岐阜県公式ホームページにも掲載します。

Q

県外出身者や既卒者は採用試験で不利ですか？

A

出身地や学歴、性別などによる有利、不利はまったくありません。受験資格を満たしていれば、どなたでも受験することができますし、公平・公正に試験を実施しています。

Q

最終合格者は全員採用されますか？

A

最終合格者は任用候補者名簿に登録され、その中から任命権者が採用者を決定します。採用者数は退職者の状況などを勘案して決定しますので、その状況によっては合格しても採用されない可能性もあります。ただし、最近では、辞退した場合や、資格免許職などで資格や免許が取得できなかった場合等を除いて、最終合格者全員が採用されています。

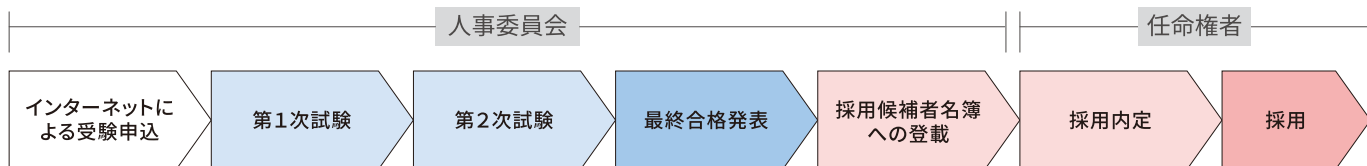
Q

試験の成績を知ることはできますか？

A

各試験の受験者本人に限り、合格発表の日から1か月間、「各試験種目別の得点、結果」、「総合得点」、「総合順位」を岐阜県情報公開・行政相談窓口（県庁1階）において開示します。その際、個人番号カード等、写真で本人と確認できるものをご持参ください。なお、本人以外や電話でのお問い合わせには応じておりません。

◆受験から採用までのプロセス



◆試験の申込み

申込方法は、原則としてインターネットによる申込み（電子申請）のみとなります。岐阜県公式ホームページにアクセスし、オンライン申請フォームに必要事項を入力の上、岐阜県人事委員会事務局に申込書を送信してください。

岐阜県庁ホームページ「岐阜県職員採用情報」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/3703.html>

岐阜県職員採用情報

検索



岐阜県庁ホームページ「岐阜県職員採用情報」では、受験申込ができるほか、各種試験案内もダウンロードできます。
※インターネットによる申込みができない特段の事情のある方は、岐阜県人事委員会事務局にお問い合わせください。

◆採用選考等について

特定の職種については、人事委員会ではなく、県庁の各課が採用選考を行っています。詳しくはそれぞれの担当部署にお問い合わせください。

問い合わせ先

医師、助産師、看護師

健康福祉部健康福祉政策課 管理調整係

TEL : 058-272-8260

教員

教育委員会事務局教職員課 小中学校係

TEL : 058-272-8740

高等学校・特別支援学校係

TEL : 058-272-8741

警察官

警察本部警務部警務課 人事第一係

TEL : 058-272-3140 (採用直通ダイヤル)



表紙イラスト
制作者

岐阜県立加納高等学校 美術科3年 宮内 心綺 さん

「イラストの女性は、岐阜のより良い未来のために、これから仕事に向き合っていこうという強い意志を、先を見つめる目線から感じられるように表現しました。新しいスタートにふさわしい風が吹き、爽やかなイメージを伝えられたらと思っています。」

岐阜県人事委員会事務局

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 (岐阜県庁17階) TEL 058-272-8796 FAX 058-278-2826

E-mail c13201@pref.gifu.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13299.html>